

名寄市立総合病院

回 覧



サポート ニュース

市立病院と共に歩み 支えましょう



名寄市立総合病院サポートクラブの平成29年度総会が4月27日開かれ、今年度の事業計画などを決めました。

総会には、来賓として加藤剛士市長をはじめ、病院側からも和泉裕一院長、室野晃一副院長、酒井博司副院長、大谷靖之医療技術部長、益塚典子看護部長らが駆け付けてくれました。

田畑忠行代表は「一昨年7月の発足以来、自分たちのできる力で

側面から市立病院を支えてきました。今年も例年通りの取り組みをしたい」とあいさつ。加藤市長もクラブの活動を評価しながら、「今後も市民と病院の架け橋となってください」と期待を込めました。

このあと、今年度の事業として①病院周辺清掃②絵本収集③花のプランター設置④ロビーコンサート⑤ナースカフェ支援⑥クリスマスロビーコンサートなどのほか、つぼみ保育園改築1周年餅つき、会員向け講演会、公開講座支援、新聞コラム掲載等に取り組むことを確認しました。

北海道地域医療構想と今後の医療

総会に先立ち、和泉院長が「北海道地域医療構想と今後の医療について」と題して講演しました。

この中では、地域が抱える課題となっている少子高齢化の進行により、さまざまな課題が浮上することを明らかにしながら、改めて市立総合病院の役割について語りました。



私たちの活動を紹介します。



共に歩む

名寄少年少女合唱団を迎えて
7月8日(土)16時から
ロビーコンサートです
ご来場をお待ちしています



市民と病院の架け橋



支え合う



発行 名寄市立総合病院サポートクラブ
代表 田畑 忠行
事務局 名寄商工会議所内

会費は個人年額 2,000 円、事業所・団体同 5,000 円

クラブ員募集